

広報

にしわが

2008 (平成20年)

 2月号 28号

今月の内容

第三セクター経営評価…………… 2～3P
ごみ問題…………… 4～5P
小学校適正配置の答申内容…………… 6P
いのちの作法試写会…………… 8P

写真■2月17日川舟小学校学区区民雪祭り
今年は30回目の記念大会となりました

経営評価報告書まとまる

町は、昨年7月に「西和賀町第三セクター経営評価委員会」を設置し、町が出資する第三セクター各社のあり方を模索してきました。先ごろ報告書がまとめられ町長に手わたされました。

報告書まとまる

2月13日に行われた第6回委員会で検討結果がまとまり、佐藤一久委員長（大杓）から「第三セクターのあり方は町民にも関心が高い事項の一つ。町民の気持ちに添えてほしい」と話し、町長に報告書を手渡ししました。

その後、委員と町長による意見交換が行われました。委員からは「産業振興のためにも町の将来像をイメージし、戦略を打ち出す必要がある」「西和賀町は資源が豊富。ほかをま



ねるのではなく、ここでしかできない、ほかではまねのできないもので勝負するべき」「まったなしの状況になっているので、この報告書を書き物で終わらせないように改善に向け乗り出してほしい」などの厳しい意見が相次ぎました。

町長は「報告書を重く受け止め、できるところから着実に順序よく取り組んでいきたい。報告書を今後のまちづくりに生かしていきたい」と話していました。

検討の経過

町内には4つの第三セクターがありますが、昨今の経済状況や町内への観光客数の減少などからいずれも厳しい経営状況です。このままでは町の産業や雇用にも大きな影響を与えることが心配されます。このため町内の知識経験者と県職員などに検討をお願いしました。

調査の対象は湯田牛乳公社、エステック、西和賀産業公社の3社です。委員会では、各社の現場責任者から経営の状況や町との関係の意見を聞いたたり、町の依頼により専門的な立場から各社の経営状況調査を行った公認会計士の堤研一さん（北上市）とも意見交換をしながら検討を重ね、報告書としてまとめました。

報告書は町と三セクへの提言

報告書には、第三セクター各社の経営状況や町とのかかわりを分析した結果を踏まえ、町と第三セクターへの提言が示されています。

町では、報告書の提言を受け、第三セクターの位置づけや町とのかかわり、管理する施設のあり方などを見直していきます。また、第三セクター各社に対しても、報告書をふまえ、安定した経営に向けた改善に取り組むよう働きかけていきます。

西和賀町第三セクター経営評価委員会委員

役職	氏名	所属など
委員長	佐藤 一久	西和賀商工会会長
副委員長	真壁 信男	西和賀町観光協会会長
委員	高橋 雅一	西和賀町議会議員
	佐藤 洋輝	西和賀町企業連絡協議会会長
	高橋 勉	県総合政策室経営評価課 出資等法人改革担当課長
	佐々木 淳	岩手県南広域振興局 経営企画部経営企画課長
	新田 晟訓	副町長（エステック社長就任のため9月29日付で委員辞任）

（敬称略）

町への10項目の提言

報告書に示された提言のうち、町として取り組む必要があるとされた10の提言は次のとおりです（第三セクター各社の状況や提言の内容は、紙面の都合から次号でお知らせします）。

提言1 町の方向性を定めること

第三セクターが町の施策でどう位置づけられ、産業振興や住民福祉のためにどう貢献させるのか、町としての考えを明らかにすることが最優先課題である。町の方針や具体的な計画を策定して方向性を定めること。

提言2 施設のあり方を検討すること

町の施設は、住民福祉の向上や交流人口の拡大などのためにつくられたものだが、建設した当時と状況が変わってきている。使用目的や経費と効果の関係などから施設の必要性を検討し、見直しをすること。

提言3 管理運営体制を見直すこと

町の温泉施設などは、第三セクター

を指定管理者として管理運営を行

わせているが、20年度末で契約が切れることから、この機会に管理運営の見直しについて、早急に着手すること。見直す場合には、公衆浴場の施設は地域に管理を委託するなどして、経費の節減を図ること。

提言4 窓口を一本化すること

第三セクター各社の連携を強化するため、第三セクターに対する町の窓口を一本化し、行政内部の観光部門や農林部門、外部団体としての観光協会や旅館組合などの連絡調整をスムーズにして、町全体の観光振興や特産品の販売促進を図ること。

提言5 経営会議を設置すること

各社のトップと現場責任者、町の関係者などで構成する第三セクター

経営会議（仮称）を設置し、営業戦略や観光メニューの開発、共同イベントの開催、商品の販売促進などに取り組むこと。

提言6 必要な支援を行うこと

第三セクターの経営は、自助努力により行われるべきであるが、現在の経営状況がきびしく、建て直しが急がれることから、町の財政的な支援も必要と考える。支援をする場合は目的を明らかにし、第三セクターの経営改善が図られるような取り組みに対して行うこと。

提言7 独立性を高めること

第三セクターのトップとして町長・副町長が就任していることは、法人としての独立性ということなどからしても好ましいとは思えない。将来的には実質的な経営責任者がトップに就くような体制に移行すること。

提言8 町のブランド化を進めること

生命尊重行政や温泉、豊かな自然

などの地域イメージ、山菜や郷土料理など安全・安心、伝統を感じさせる食文化など、町の資源を含む町全体のイメージをブランド化し、発信する取り組みを推進すること。

提言9 情報を公開すること

第三セクターが町民の信頼にこたえられるよう、各法人に対して適切な指導監督に努めること。また、定期的な点検評価を行うこと。第三セクターの経営状況などは、議会、住民への報告、情報公開を分かりやすく行うこと。

提言10 法人再編を議論すること

第三セクターの経営基盤の強化や職員の有効活用、営業活動の一体化などの点で、法人の再編は積極的に検討するべきであり、似たような業務や関連する業務を行っている第三セクターを中心に議論を行うこと。

報告書の全文は町のホームページや両庁舎の窓口で閲覧することができますのでご利用ください。
担当／総務課行革推進室

☎ 82-3286



熱心に説明を聞く参加者

ごみを知り正しく分別 そして ごみを出さない考え方へ

先ごろ沢内庁舎でごみゼロ学習会が行われ、地域住民など70人あまりが参加しました。

生活環境課職員から、ごみに関し様々な説明が行われたほか、食べ終

わった昼食の弁当を実際に分別しながら、分別の基礎を学びました。そして、昼食の弁当から排出されたごみの量を計りながら、あらためて生活から生み出されるごみの多さにびっくりしていました。

また、西和賀町婦人連絡協議会からは、生活の中から排出されるごみを根本的に少なくする活動の事例発表がありました。

ごみは正しく分別することで資源になります。再利用することで、効率のよい循環型社会を形成していきます。限りある資源なので、面倒でもごみ分別を行うのは私たちの責任です。

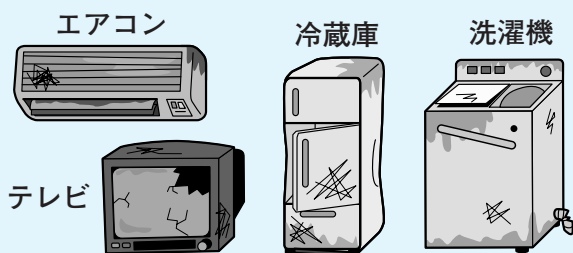


不法投棄は犯罪です

廃棄物の処理を適正に行わなかった場合には、法律により一般廃棄物の場合には5年以下の懲役か1,000万円以下の罰金（法人の場合には罰金の額は1億円以下に加重されます）に処罰されます。「知らなかった」、「これくらいなら大丈夫だろう」という安易な気持ちでは許されません。

家電リサイクル法とは

特定家庭用機器再商品化法を略して家電リサイクル法と言います。平成10年6月に施行されたこの法律では、家庭用エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の家電4品目の小売業者による引取り、製造業者と輸入業者によるリサイクルが義務付けられました。



事例発表

マイバックでごみ軽減

西和賀町婦人連絡協議会では、マイバック運動を推進しています。

会長の加藤久子さん（新町）から「レジ袋を10枚作るのに石油180ミリリットルが必要です。会では地球温暖化防止のために、買い物をする際は、自分のマイバック持参運動を推進しています。風呂敷も見直されています。ごみを最初から出さない運動に力をいれてます」と事例発表がありました。

すでに買い物の際のレジ袋が有料になっている店舗もありますが、有料無料にかかわらず、自分のバックを持ち歩き活用しましょう。



会場で出された意見や質問

【質問】

ほ かの自治体では、空き缶を出すときにつぶしているところもあるようだが、なぜ西和賀町ではつぶしてはいけないのか。



町—空き缶やペットボトルは、処理をする過程で、ボールと呼ばれるブロック状にして運搬しやすくします。つぶされた状態だとうまくブロック状にできません。ペットボトルも同様です。

これは西和賀町で依頼している処理場の関係なので、**つぶさないものは資源ごみになり、つぶしたものは燃えないごみ**になります。



ブロック状態のボール

ト レーやペットボトルはどこまで水切りすれば良いか。

町—トレー、ペットボトル、空き缶などは一度水洗いをしてもらっていますが、**数回水切りをして水が滴らないような状態であれば乾燥させる必要はありません。**

さ びた空き缶と汚れた段ボールの分別はどうするのか。

町—明らかに**さびていれば燃えないごみに、ところどころさびているようならば資源ごみ**にします。

また、段ボールは汚れがひどく、**ぬれているような場合は燃えるごみで、汚れが少量であれば資源ごみ**に分類してください。

缶 詰の缶はどう分類するのか。



町—蓋がついた缶詰は**資源ごみ**になります。蓋と缶が分かれば、蓋は燃えないごみに、缶は資源ごみに分類してください。また、茶筒やクッキー缶などの場合は、蓋と本体に分けて、蓋は燃えないごみに、本体は資源ごみに分別してください。理由はペットボトルなどと同じです。

【意見】

ジ ユース類などはほとんどがペットボトルに分別しますが、洗剤などにもペットボトル製品があります。分別する際は、基本的にはラベルを確認し、思いこみをせずに分別する必要があると思います。

大 人の男性の参加が少なく、ごみの分別は、まだ女性の仕事かなと残念に思いました。

地 区でゴミ拾いをしていいるが、集めたごみは公民館に置いて良いか。

町—町で収集するのは一般家庭からのごみ対象なので、公民館に集めても町では回収しません。また集めたごみは原則として資源ごみになりません。

そのため、地区や回収団体に最後まで責任をもって弃天にある処理場に届けてください。どうしても難しい場合は、担当課にご連絡ください。後日回収に伺います。



弃天地区の処理場

旧町村単位に1校ずつ

町長に答申書手渡す



を話しながら、検討委員の見守る中、町長に答申書を手渡しました。

町長は「明確な答申になっており重く受け止めます。様々な意見があるのは承知してありますが、町民のみなさんから理解を得ながら進めていきます。早速、

取りかかりたいと思います。長い間ご苦労さまでした」と労をねぎらいました。検討委員会では、平成18年10月から今年1月まで、およそ16か月にわたり10回の会議、7か所の地区懇談会、アンケートなどを行いながら今回の答申をまとめました。

今後のスケジュール

答申を受けた町では、①

答 申 書

1 答申主文

- (1) 湯田地区、沢内地区各1校とする
- (2) 学区の編成替えはしない
- (3) 校舎は現在ある校舎を使用する

旧町村の枠を超えた通学はできないことを示しています。

湯田地区3校、沢内地区4校の中から現存する校舎を使い、新築はしないことを示しています。

2 理 由

- (1) ここ数年、町全体にわたり児童数が減少し、複式学級の増加、また、入学児童がなく入学式のない学校も出てきており、教育効果から考えても複式学級を解消できる適切な学校規模が望ましいこと。
- (2) 児童数と合わせて施設、設備等教育環境の整備を図る必要があること。
- (3) アンケート結果で統合が必要であると答えた人のうち、湯田、沢内各2校が42%、各1校が38%であった。ただ、各2校とした場合複式学級の解消にはならないなど将来的な見通しから各1校という結論に達していること。

3 付帯意見

- (1) 歴史的に学校が地域振興の核となってきたことが確認され、廃校となる学区が今後益々荒廃し疲弊の進むことへの懸念が問題点として取り上げられた。
小学校適正配置実施後の廃校舎の活用について、具体的に地区住民に提案しながら地域振興に努めていただきたい。
- (2) 子育て環境を整備することによって、人口流出に歯止めをかけたい。町の重点政策として人口減に歯止めのかかる産業の振興、企業誘致、ふるさと回帰事業等々具体的な施策をもっと積極的に進めていただきたい。
- (3) 通学距離、時間について子どもへの負担を最小限にすること。地域によって多少の差は出るものの、その差が地域間格差にならないように各種活動にも対応できる通学方法等も含めて学校の設置場所を検討していただきたい。
- (4) 学校の設置場所の決定にあたっては、あくまでも教育効果等児童中心の考えを最優先し、地域の請願や要望に左右されないよう十分に配慮していただきたい。
- (5) 校舎、施設設備、教材教具等、また、特別支援教育、日常の教育活動のための教員の配置等、子どもの教育環境を他に類のない環境に整備、充実していただきたい。
- (6) 保育所(園)、小学校、中学校、高等学校も含めた町全体のグランドデザインを作成し、その上で小学校適正配置の実施を進めていただきたい。

答申に基づき、学校の場所、名称はどうするかなどを町当局で判断します②町の案を、議会に上程し審議して

もらいます③議決後に教育環境の整備などを順次進めていきます。

町長は「答申内容に『学区の編成替えをしない』ことが示されたことから、統合の理解が得られ準備の整った地区から新体制でいきな

雪上バトトル
北日本雪合戦大会

町内3チーム
国際大会へ

2月3日～4日湯本小学校グラウンドで「ほっとゆだ2008北日本雪合戦大会」が行われました。今年で14回目を迎え、遠くは千葉県など町内外から一般の部に48チーム、男女混合のミックスの部に28チームが出場し雪上で激しいバトトルが繰り広げられました。

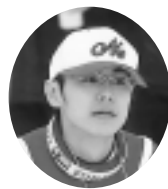


決勝にのぞむ南部レイダース

初日は、予選リーグで、各組の2位までが決勝トーナメントに出場できます。一般の部で決勝戦まで進んだのは町内から出場した南部レイダース。南部レイダースの対戦相手は本大会で

3連覇を目指す強豪の「銭形平次」で、善戦したものの惜しくも敗れ2位になりました。

町内から出場したゆだホワイトベアーズ、西部レイダースもともに3位に入賞し上位を占めました。



行監督（湯田）は「まだまだ自分たちの力不足だと感じま

した。昭和新年大会まで自分たちの弱い部分を鍛えて、昭和新年大会に出場するからには優勝するつもりで頑張ります」と抱負を話していました。

また、女子の選手が3人以上参加するミックスの部では、消防署職員などを中心とする「西和賀ファイヤーズZ」が優勝しました。

この大会は、北海道壮瞥町で行われる昭和新年国際雪合戦の岩手県代表選考会も兼ねており一般の部の上位4チームが県代表として参加することになり、南部レイダース、ゆだホワイト

ベアーズ、西部レイダースが同大会に出場しました。同大会は2月23日～24日に行われました。大会の様子

は次号でお知らせします。
【一般の部結果】①銭形平次（紫波町）②南部レイダース③ゆだホワイトベアーズ③西部レイダース【ミックスの部結果】①西和賀ファイヤーズZ②西和賀ファイヤーズB（西和賀町）③ウインハート（花巻市）③一文無し（盛岡市）



ミックス優勝の西和賀ファイヤーズZ

雪あかり
2008 in にしわが
46団体と
7000世帯参加

雪あかり実行委員会などは2月9日～10日まで町内

全域を対象に、雪あかりを行いました。

ほっとゆだ駅前には、実行委員会による巨大なモニユメントが作成されたほか、各家庭や各地域でも趣向をこらした雪像が作られ、雪あかりを盛り上げました。



川舟地区の夢銀河号



ほっとゆだ駅前のモニユメント

全国小学生雪合戦大会
惜しくも敗れる
町内チーム

日本雪合戦協会の行う第7回全国小学生雪合戦大会が2月10日湯本小学校グラウンドで行われ、青森県や広島市などから24チームが参加しました。町内からも3チームが出場しましたが、湯本つ子ファイターズは予選敗退、川尻リバーヒップと川尻スノーボーイズは決勝トーナメントに進んだものの一回戦で敗退しました。

この大会は西和賀町で初めて行われ、次大会は長野県で行われる予定です。



優勝旗は青森県へ

故・和泉三男さん（太田）

自治活動の貢献で 旭日単光章



昨年12月5日78歳で亡くなった和泉三男さんの生前の自治活動の功績に対し、生前にさかのぼって旭日単光章が授与されました。

和泉さんは、昭和62年5月～平成19年4月まで沢内村議会議員・西和賀町議会議員として、住民の生命と健康を守ることが至上命題であるとの強い信念から、活発な活動を行ってきました。

一方、議会活動の傍ら平成7年4月～平成18年3月まで沢内村体育協会副会長として『村民総参加によるスポーツ振興』を提唱し、地域スポーツ振興のために各行政区に体育協会の設立を図るなど地域と共にあるスポーツ活動を推進しました。

雪を資源として活用する雪冷房併設土間付体育館（志賀来ドーム）の建設にも深く関わり、冬期間でも夏と変わらない環境を創出し、ゲートボールやニュースポーツの普及に大きく貢献しました。

1月31日町長が和泉さんの自宅を訪れ、妻のマサ子さんに伝達しまし

た。伝達後、町長は「本来は、生前にご本人が授かるべきものですが、亡くなってからお渡しすることになり本当に残念です。和泉さんのご功績に深く感謝します」と言葉をかけました。

マサ子さんは「このような章をいただけるのは、夢にも思っていないでせんでした。これもみなさんに支えられてきたおかげです。家宝として大事にしていきます」とお礼を述べました。

【そのほかの経歴】

○沢内村商工会理事

昭和63年12月～平成18年

○沢内村社会福祉協議会評議員

平成5年4月～平成8年9月

平成14年5月～平成18年8月

○沢内村社会福祉協議会理事

平成14年5月～平成18年3月



「いのちの作法」完成

2年半の集大成

平成18年6月から町内で撮影が始まった記録映画「いのちの作法」が先ごろ完成し、1月26日と27日銀河ホールで完成試写会が行われました。

この記録映画は、深澤村長の掲げた「生命尊重」

を再確認し、西和賀町という舞台を通して、人や地域のつながりを見直し、あらためて生命の大切さをうたえています。

初日の試写会では、会場に入れなほどの満席となり、急遽上映回数を増やすなどして対応し、2日間で4回およそ1000人が観賞しました。

試写に先立ち、監督の小池征人さんが「地方の映画が中央を超えた。それだけの力がある映画に仕上がった。喜びであり誇りだ」と舞台あいさつしました。

この映画制作は、北上市出身で日本映画学校（神奈川県）を平成16年に卒業した都鳥拓也さん、伸也さん兄弟が、同校の創立者である武重邦



夫さんのスーパープログラム研修生となり、本企画を提出したことに始まります。現地調査から含めると2年半が費やされ撮影時間はおよそ130時間。完成した映画は1時間47分に編集されました。

都鳥兄弟は、試写会で配られたチラシに「私たちは、ここに刻まれたひとりひとりの想いが、いのちの尊厳を忘れかけている『いま』に本当の人間の在り方を思い出させてくれると信じている。今、みちのくから世界へ、『いのちの作法』が発信される」と書きつづっています。

映画は、北上市、盛岡市などでも上映されたほか、今後は全国で上映される予定です。

むらづくりフォーラム 事例発表など有意義に



発表する菅野富子さん

2月13日沢内バーデンで、北上地方農林業振興協議会が中心になり西和賀むらづくりフォーラム&地域特産品加工コンクールが行われました。地域資源を生かした農産加工品の展示などを行い、交流を深めることを目的に行われています。

午前中は、猿橋小学校の菅野宏一教諭と教育委員会の大沼英生指導主事、菅野富子さん（貝沢）、高橋医久子さん（下前）が実際に取り組んでいる活動やその成果を発表しました。つめかけたおおよそ100人の参加者らは熱心にメモをとりながらうなずいていました。また、団体や個人から出品された加工コンクールでは、長瀬野生活研究グループの高橋ティ子さん（両沢）の作った「ミズの親子すり身」が最優秀賞を受賞しました。

元気な「ミニユニティ100選」 町内から3団体

1月24日湯田庁舎で岩手県「元気なコミュニティ100選」に選ばれた町内の3団体にに対し、選定証の交付が行われました。これは地域活性化に自主的に取り組む団体を選定しているもので、今回受賞したのは、夢追い人かじか組合、湯川「桧峠会」、かたごの会の3団体です。

夢追い人かじか組合（佐井昭三組合長・新町）は、カジカのふ化や放流活動に取り組む、自然環境の保全にも取り組んでいます。湯川「桧峠会」（高鷹昇会長・湯川）では、きのこまつりや雪中奉納相撲などを通して地域の活性化を推進しています。また、かたごの会（高橋ミツ子会長・川舟）では、安ヶ沢地内のカタクリの保存などを行いながら、カタクリまつりなどにも力をいれています。



各団体に選定証が交付されました

川尻保育園に鬼登場 青年部と園児が交流



豆をぶつけて鬼退治!!

西和賀商工会青年部（石川英賢部長大野）では節分にあわせ、川尻保育所、せんだん保育所、湯本保育園、川尻保育園で豆まきを行い園児らと交流を深めました。

2月1日川尻保育園（神成礼子園長・園児35人）には、鬼に扮した同部員の高橋宏明さん（大杓）と高橋亮さん（湯田）が、ドスンと地響きをたてて「悪い子はいねが〜」と大声で登場。

これに対し、園児たちは「鬼は外、福は内」と元気な声で鬼に豆をぶつけました。

その後、園児らは自分の心のどのどんな鬼を退治したのかを発表しあい、年長組の高橋淳平君（大杓）は「泣き虫鬼を退治しました」と元気よく発表しました。

きらめく女性のひびく 町内100のイベント

1月21日銀河ホールで、西和賀町婦人連絡協議会、西和賀商工会女性部など町内女性5団体で構成される西和賀町きらめく女性連絡会による第2回きらめく女性の集いが行われました。

当日は、雫石町在住で軽トララックに収穫された作物を積み販売する「軽トラ市」を行っている浜田潔さんによる講演がありました。浜田さんは自身の経験などもふまえ「町おこしなど、新しい企画には問題点やアイデアを整理することが大切だ」と主張しました。

また、午後からは、幼くして盲目というハンディキャップを背負いながらその生涯を視覚障害者のために捧げた盲学校教師の故・栗津キヨさん（新潟県）をモデルにした映画「ふみ子の海」が上映されました。



「軽トラ市」の浜田さん

各種スキー大会結果

(種目や名前の丸数字は順位を表わしています)

岩手県中学校スキー大会

1月12日～14日まで、八幡平市安比高原スキー場などで行われた第57回岩手県中学校スキー大会で、沢内中学校の4選手が東北大会、全国大会への切符を手に入れました。また、ノルディック競技に出場した田中文博君(3年・新町)は、クラシカルとフリー競技でいずれも優勝し2冠を達成しました。

- 〔アルペン男子〕**回転**①**大回転**③竹澤統巳(3年・新町)〔アルペン女子〕**大回転**③石川千尋(3年・若畑)④刈田あり紗(3年・大野)〔ノルディック男子〕**クラシカル**①**フリー**①田中文博

東北中学校スキー大会

1月26日～28日まで、秋田県田沢湖スポーツセンターなどで第44回東北中学校スキー大会が行われ、県大会で4位まで入賞した4選手が出場しました。

- 〔アルペン男子〕**大回転**⑨竹澤統巳〔アルペン女子〕**大回転**⑫石川千尋

- ⑬刈田あり紗〔ノルディック男子〕**クラシカル**⑬**フリー**⑭田中文博

全国中学校スキー大会

2月1日～4日まで石川県白山市の白山白峰温泉スキー場などで第45回全国中学校スキー大会が行われました。

- 〔アルペン男子〕**回転**⑯**大回転**⑳竹澤統巳〔アルペン女子〕**大回転**㉘刈田あり紗〔ノルディック男子〕**リレー**⑳**フリー**㉟**クラシカル**㉚田中文博

県民体スキー

第60回岩手県民体育大会スキー競技会が1月18日～21日まで八幡平市の安比高原スキー場などで行われ、西和賀町(旧町村も含め)としては最高位となる男女総合で2位になりました。

- 〔結果〕**成年男子C**34歳～40歳⑥高橋北斗(湯本) **成年女子**50歳以上①藤田陽子(川尻) **成年男子H**60歳～64歳①梅川良一(川尻) ②高橋幸治(湯本) **成年男子G**55歳～59歳④菅原義美(野々宿) ⑤山本幸男(川尻)

湯田カップGS大会

第9回湯田カップジュニアGSス

スキー大会が1月27日湯田スキー場で行われ、県内外からおよそ80人が参加しました。

〔町内の入賞者〕

- 小学校1・2年男子**①梅川晃平(湯田Jr) **小学校3・4年男子**①高橋悠太(湯田Jr) ②梅川龍哉(湯田Jr) ③高橋幸翼(志賀来スポ少) **小学校5・6年男子**①羽柴麗(湯田Jr) ②栗谷京生(湯田Jr) **中学校男子**①高橋佑人(沢内中) ③刈田雄平(湯田中) **小学校3・4年女子**①高橋結(一本杉スポ少) ③竹澤みさと(湯田Jr) **小学校5・6年女子**①竹澤ゆきみ(湯田Jr) **中学校女子**①佐藤麻美(沢内中) ②高橋葉月(沢内中)

志賀来スキー大会

1月19日志賀来スキー場で第25回志賀来ジュニアアルペンスキー選手権大会と第17回志賀来クロスカントリー選手権大会兼第4回沢内ジュニアクロスカントリースキー大会にあ

- わせておよそ80人が参加しました。
〔アルペン〔男子〕〕①刈田圭佑(志賀来スポ少) ②高橋佑哉(一本杉スポ少) ③高橋汰空(志賀来スポ少) 〔女子〕①刈田ルル(志賀来スポ少) ②新田彩音(一本杉スポ少) ③高橋クロスカントリー〔男子学年別〕1

- 年①石川泰晴(志賀来スポ少) 2年①丹波亜也人(川舟スポ少) 3年①佐々木康明(志賀来スポ少) 4年①前島風太(川舟スポ少) 5年①吉田雅昂(川舟スポ少) 6年①佐々木拓哉(志賀来スポ少) 〔男子フリー〕

- ①佐々木拓哉(志賀来スポ少) ②佐々木渉(志賀来スポ少) ③吉田雅昂(川舟スポ少) 〔一般男子〕①佐々木保弘(志賀来スポ中) ②藤原利雄(西和賀山岳会) ③佐々木勝順(志賀来スポ中) 〔女子学年別〕1年①小森未羽(貝沢小) 2年①岩井マキ(貝沢小) 3年①佐々木優夏(志賀来スポ少) 4年①深沢百花(一本杉スポ少) 5年①佐々木しおり(志賀来スポ少) 6年①田中ゆかり(志賀来スポ少) 〔女子フリー〕①田中ゆかり(志賀来スポ少) ②米澤美鈴(志賀来スポ少) ③佐々木しおり(志賀来スポ少)

県スポ少スキー大会

2月11日八幡平市田山スキー場で第30回岩手県スポーツ少年団スキー大会が行われ、町内から出場した2人が入賞しました。

- 〔距離女子3キロ〕①田中ゆかり(志賀来スポ少) 〔女子アルペン大回転〕②刈田ルル(志賀来スポ少)

町内最高齢104歳2人

スメさんとツヤさん

町内の最高齢となる明治37年生まれの平澤スメさん（泉沢）と深澤ツヤさん（太田）が、先ごろ元気よく104歳の誕生日を迎えました。

光寿苑で生活する平澤さんは、撮影当日は自分の着物に着替え職員に囲まれて大変うれしそうでした。長寿の秘訣を聞くと「秘訣というほどのものではないが、私でさえ長生きできたので、みんなもできるでしょう」と話していました。また、週2回デイサービスでぶな



元気なスメさん(上)とツヤさん

の園に通うツヤさんは、職員らに祝福されながら「みなさんのお世話になりながらも、病気もせず生活できることに感謝します。みなさんから祝福されたいです」と話していました。ツヤさんを見守る同園生活相談員の上中屋敷陽子さん（太田）は「これからもこのままで過ごしてほしいと職員一同で願っています」と話していました。

お誕生日おめでとうございます。

滞納者から差し押さえた財産を「公売」します

町は、財政運営の基盤である町税収入の確保と納税の公平さを保つため「岩手県地方税特別滞納整理機構」（広報にしわが平成19年5月号をご覧ください）に加入し、滞納町税の徴収強化に努めています。

このたび町税徴収対策のひとつとして、滞納者から差し押さえた財産の公売を行うことにしました。入札はどなたでも参加できますが、持参するものなどは、ホームページか担当課まで事前にお問い合わせください。参加希望者は時間までに会場にお越しください。

公売日時／3月4日（火）13:30開始

公売会場／湯田庁舎

公売物件／不動産1件（1筆）西和賀町越中畑65地割1番5（地目は「原野」で面積は1,786㎡）

そのほか／①売却決定は3月11日（火）です②町のホームページに詳細を掲載しています

問 合 先／税務課 ☎85-3414

？公売とは

町が国税徴収法などの法令に基づき、滞納者から差し押さえた財産を売却する手続きです。庁舎の掲示板などで告知した後、指定の公売会場で行います。参加者が入札書に金額などを記載して入札し、高値の落札者に公売財産を売却します。売却代金は、滞納者の税金に充てられます。

医師の内定を取り消し

医師不足解消に向け全力

沢内病院では一昨年6月から院長が不在で、早急な医師確保が求められていました。現在の診療体制は、岩手県から派遣された2人の医師で運営していますが、4月から1人の引き上げが決定しています。

町ではホームページで医師募集を随時行っており、昨年応募のあった埼玉県在住の医師を沢内病院院長としていったんは内定し、4月から勤務してもらおう予定でいました。

しかしながら、自身や家族の健康上の理由から、辞退の申し入れが先月あり、町もこの申し入れを受けました。

このため、町では県や県医療局、自治体病院協議会などに引き続き協力を求めていき、医師不足の解消に向け全力を尽くしていきます。

臨時議会

高齢者世帯に灯油補助

12月7日沢内庁舎議場で、臨時議会が行われ議案5件などが審議され原案のとおり可決しました。

【議案1号】一般会計補正予算↓可決

一般会計予算の歳入歳出とも13

35万6000円を追加し歳入歳出の予算額を65億5862万5000円としました。主に、高齢者世帯などの灯油購入助成費554万円（詳しくは17ページ）、ゆう星館の源泉ポンプの修理200万円などにあてられます。

【議案3号】

丸子峠線災害復旧工事契約↓可決

崩壊した町道丸子峠線（草井沢地内）を復旧するため、（有）鎌田組（川尻）と4882万5000円で契約しました。工期は今年8月1日まで。

【議案4号】

桐沢橋（上部）災害復旧工事契約↓可決

決壊した町道小坂桐沢線の桐沢橋（川舟地内）を復旧するため（株）小山田工業所（盛岡市）と4714万5000円で契約しました。工期は今年8月11日まで。



今年8月には復旧予定の丸子峠線

入札執行状況

次のとおり入札を行いました。①内容や場所など詳しいことは、担当課まで②落札率は予定価格と契約額（共に税抜き）から算出③契約額は税込みの金額で1000円以下は切り捨て④工事名と内容は省略

2月1日執行分

番号/1（建設課）
 工事名/桐沢橋（上部工）災害復旧
 場所/桐沢橋
 内容/鋼橋上部製作工62.8tほか
 契約者/（株）小山田工業所
 契約額/4,714万円
 工期/H20.2.7~8.11
 落札率/85.9%

番号/2（建設課）
 工事名/丸子峠線道路災害復旧
 場所/本屋敷
 内容/擁壁工 L=42mほか
 契約者/（有）鎌田組
 契約額/4,882万円
 工期/H20.2.7~8.1
 落札率/95.6%

番号/3（建設課）
 工事名/桐沢橋（下部工）災害復旧
 場所/桐沢橋
 内容/橋台工2基ほか
 契約者/（株）田中建設
 契約額/3,696万円
 工期/H20.2.6~9.24
 落札率/94.4%

深澤さんは、昭和12年に故・深澤晟雄さんと結婚し、深澤さんの勤務地に連れ添い、昭和21年に帰郷しました。地域からの人望も厚く、沢内村民生委員、沢内村地域保健調査会委員、沢内社会福祉協議会事務局長、沢内村教育委員などの要職を長年にわたり歴任し、生命尊重の村づくりの実現に向け献身的に尽力されました。ご冥福をお祈りします。



深澤ミキさん逝去

平成元年の沢内村村勢功労者の深澤ミキさんが1月14日に逝去されました。

明るい選挙推進協議会

会長に須藤繁さん



1月29日
 湯田庁舎
 で、西和賀
 町明るい選

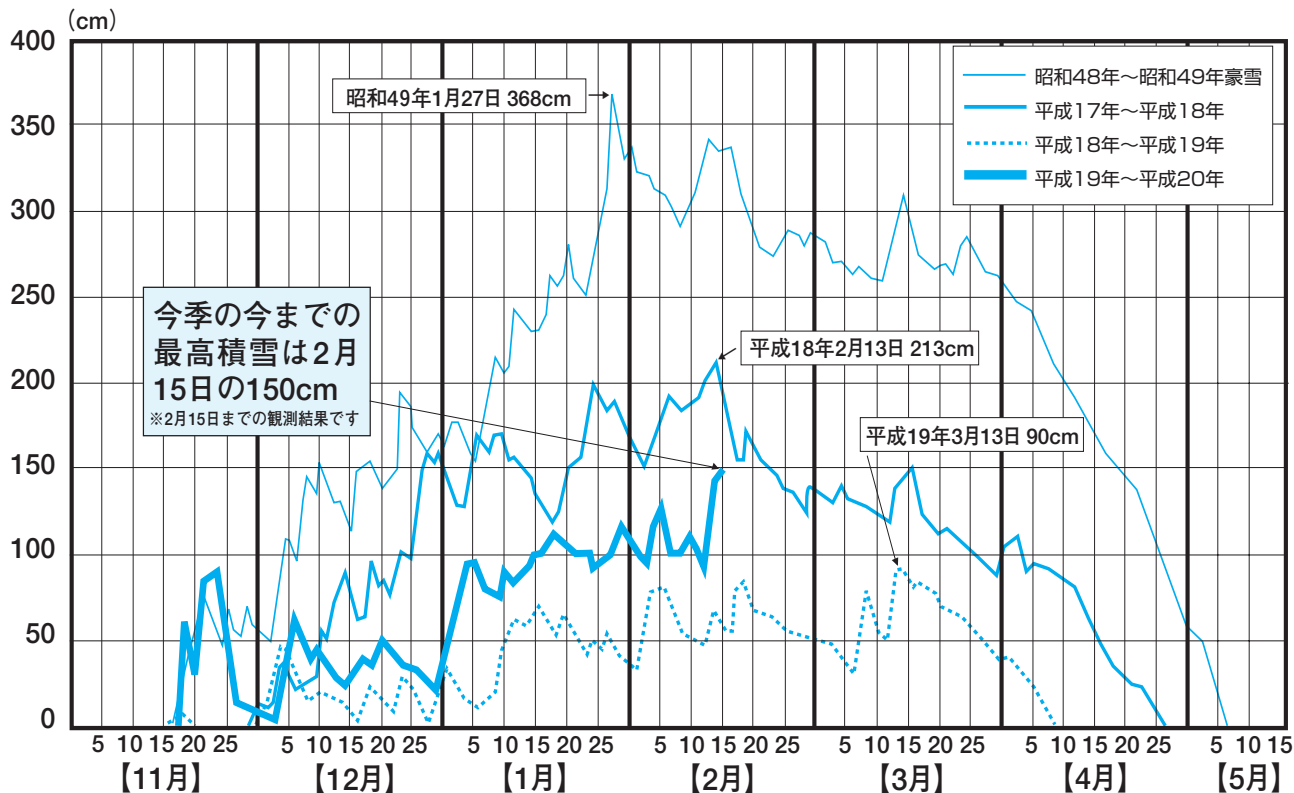
挙推進協議会設立総会が行われ、会長に須藤繁さん（上野々）、副会長に有馬忠夫さん（新町）などを選出しました。会員は、選挙管理委員など12人。

これまでは旧町村単位にそれぞれに同様の組織があり活動を行っていましたが、このたび新規に発足し活動していくことになりました。総会では、役員を選出したほか、政治や選挙に対する住民意識を高め、明るい選挙の推進を目標に活動していくことなどを確認しあいました。

積雪調査結果

西和賀町では、町内1か所（川尻地内）で独自に積雪量を観測しています。場所は、湯田庁舎付近です。調査結果は、独自のものなので、テレビ報道や新聞報道などとそれぞれ違う場合があります。

問合せ先/企画課統計係 ☎ 82-3284



歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール

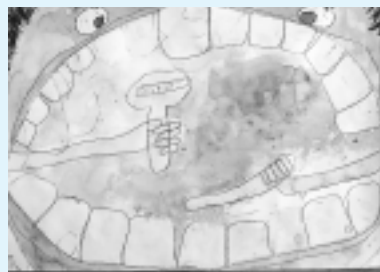
(日本学校歯科医会・日本歯科医師会・(社)岩手県歯科医師会主催)

小学校4～6年生の部
銅賞



ゆめ 田中結女さん(猿橋小6年)

小学校1～3年生の部
佳作



ゆうだい 藤戸雄大君(湯本小3年)

小学校4～6年生の部
佳作



たかや 米倉昂也君(貝沢小5年)

みんなのひろば

みなさんのご意見、ご質問、文芸作品を募集しています。

企画課 ☎82-3284

【俳句】(敬称略)

白息の 市場に残し 子牛去る

田中助衛門(貝沢)

はしゃぐ子等 水木団子の たわわかな

多田隆次郎(貝沢)

峡の郷 未だ醒め遣じ 初明かり

佐々木正勝(前郷)

野良猫の 身を隠せずに 雪の道

羽柴 盛人(大野)

着膨れて 大萱茸に 棲み馴れる

泉川 瀧子(大野)

初夢に 亡父と膠の 湯煎せり

高橋 信子(新町)

病院の 廊下の先の 冬日差し

佐々木文子(新町)

【川柳】(敬称略)

せがまれて お手玉遊ぶ 祖母元氣

多田隆次郎(貝沢)

布団着て 早寝決めこむ 灯油高

佐々木正勝(前郷)

言い訳を 笑顔で聞ける 齢となり

羽柴 盛人(大野)

雪降れば 鴉はやばや 南下する

泉川 瀧子(大野)

スカーフ巻き 母と同じ 仕種する

高橋 信子(新町)

遊ぶはず 孫に遊ばれ 雪が晴れ

佐々木文子(新町)

今はねえ 貧乏人は 米を食え

高橋 定雄(泉沢)

【短歌】(敬称略)

峠路に 雪の回廊 延々と 雪明りとて かまくらに灯が

藤田みや(猿橋)

息子らに 小言を言えば 孫が聞き 爺や嫌いと 言ふ表情をす

羽柴 盛人(大野)

大寒は 穏やかにして 青き空 居間の日差しに 背暖まりぬ

泉川 瀧子(大野)

命令と 任務残して 玉砕せぬ アツチ島の部隊 叔父に聞きたり

高橋 信子(新町)

亡骸を 一人守らむ雪の夜を 居間の古時計 ボンボン響く

佐々木 文子(新町)

米余り 落穂一本 値なき されど捨つるを 我は堪え得じ

佐々木 正勝(前郷)

趣味で人生豊かに

14

「アルペンを次世代につなげたい」

■アルペンスキー
栗谷昭博さん
(湯本)



いつ頃からスキーを

6歳のころです。ちょうど湯之沢スキー場（現湯田スキー場）が昭和46年にオープンし、近所の人に連れられて滑ったのが最初です。それ以来、小学校から大学までアルペンスキーに取り組んできました。大学卒業後は、中学校の教師になり平成17年から出身の湯田中学校でお世話になっています。

スキー環境の変化は

私がレースをしていたころとは劇的に環境が変化しました。スキー場も増え、施設も充実し整備されています。恵まれた環境がある一方で、アルペンスキーの競技人口が減少してきていることは寂しいことです。

が、昔と違い多種多様なスポーツを選択できるようになったためで、これも時代の流れだと感じています。

ポランテアで選手育成も行っているそうですね

お願いされた選手に指導をしています。時間に限りがあるため、土日やナイター練習をポランテアとして弟（紀夫さん）と協力しながら主に中学生を対象に競技スキーの指導をしています。

指導方針と大事なことは

選手個々の滑りをみてテーマを考え、どんな練習が適しているのかを考えます。また、抽象的な言葉では伝わらないので、選手には具体的な言葉を選んで話すようにしています。

指導者として大事なことは、適切な指導はもちろんです。練習の時間と環境を確保することだと考えています。



指導した女子選手が、市内中の女子アルペンとして二度目の全中大会出場（関連10ページ）を果たしましたね
冬季の競技の多くは一瞬ですべてが終わります。どんなに頑張っても実績があっても転べば終わりです。競技をする以上は勝ち負けはつきものですが、競技の楽しさや満足感を次世代につなげてもらいたいですね。また、競技ができるのは、町の協力やスキー場管理者の理解や多くの人たちの協力で成り立っていて、そういう感謝の気持ちを常に忘れないことも大切です。そのためにも、今私たちが頑張らなければ、という意識で取り組んでいます。

共にあゆんだ道のり

2



佐藤清左工門さん (88歳)
シツエさん (83歳)
=下前=

湯田町議会議員として町勢の発展に尽くした清左工門さんご夫妻は息子夫婦と4人暮らし

清左工門さん……

私が25歳の時に結婚したので、今年で64年目です。私はわがままに生活してきましたが、今までついてきてくれて感謝しています。妻には、一人で農業を支えてもらい難儀をかけ、すまないと思っています。

シツエさん……

結婚50年を記念し、千葉の娘のところに行き、2人でゆっくりしてきました。旅行らしい旅行もできなかったので良い思い出です。

そうもくくようきょう

草木供養経 =弁天=



(西和賀町指定史跡)

七内地区の外れの林の中に、山神神社が建立されており、その境内に高さ1.2mほどの石塔があります。石塔には「文久三年 草木供養経」と刻まれています。

豊かな自然の中で暮らす西和賀の人々にとって、草木は神の化身であり、神からの贈りもので生命を授ったと考えられています。人々が生活する上で、生命のある草木などと共存するのは当然のことで、草木の心や霊の成仏を祈って供養することはきわめて自然だったのでしょう。

文化財を訪ねて

14

沢内大正琴同好会



■紹介者
代表
高橋定雄さん
(泉沢)

—いつから

私は、子どものころに聞いた大正琴の音が哀愁を帯びて何とも忘れられませんでした。第2次大戦後日本も豊かになり、大正琴の音がテレビで流れるようになり、昔の思い出もあり昭和58年に結成しました。

—会員数などは

多いときには50人を超えた時期もありますが、現在は21人です。個人練習のほか、月に一回以上は教室を開き、琴城流大正琴の鈴木琴節教授に指事し、みんなで集まり4時間ほど練習しています。

—大正琴の難しいところ

大正琴は弦が横に張っており、ピアノの鍵盤に相当する数十個のボタンを左手で押しながら、右手で弦を弾き音を出します。ほかの楽器と違い、誰にでも簡単に演奏できます。難しいのは、みんなでリズムや音を合わせて演奏することです。

—大正琴の楽しさ

みんなで集まりワイワイするのが楽しみです。年をとると曲の速さについていくのもやっとなのですが、福祉施設などでボランティア演奏し、地域社会に役立っていると心に言い聞かせ、これからは活動していきたいと考えています。



おすすめの一品 ②

凍み大根のお煮つけ

■紹介者 食の巧 高橋京子さん(間木野)

【材料(5人分)】

凍み大根50g、ニンシ300g、マイタケ200g
高野とうふ200g、乾燥昆布30g、こんにゃく1丁
ふき200g、にんじん大1本、タケノコ200g

【調味料】

塩小さじ1、しょうゆ50cc、調理酒100cc(好みで砂糖)

【下ごしらえ】

①凍み大根は熱湯に2時間漬け込み、絞って好みの厚さに切る②フキは6cmの長さに切る③ニンシはゆでておく④マイタケはさっとゆでて、あく抜きする⑤にんじんを輪切りにし、面取りする⑥昆布は水でしんなりさせてから結ぶ⑦高野とうふはぬるま湯につけ、軽く絞ってから2つ切りにする⑧こんにゃくは、ねじりこんにゃくにする⑨タケノコは熱湯をかけ根本を切り長さをそろえる。

【作り方】

①凍み大根を柔らかくなるまで煮て、甘みの出た汁に昆布、ニンシを入れ、調味酒を入れ煮る②ある程度煮た後、これらを取り出し、マイタケ、タケノコ、にんじん、ふき、こんにゃくを入れ、柔らかくなったらしょうゆ、塩で味付けし弱火で煮込む③ある程度煮た後、具を全部取り出し、残った汁で高野とうふを味付けする。



10月前後はキノコ類の缶詰、3月からはみその受託加工が始まります。缶詰の場合は、あらかじめ缶にキ

—受託加工も行っているそうです

農協の事業をそのまま引きついでなので、万能辛しょうゆ、ピッカラ、イチゴジャム、三千石みそ、キノコの缶詰などが中心です。自社新製品の製造は、構想中です。

—どんな商品を作っていますか

創業はいつですか
昨年の4月からで、従業員は3人です。この加工場は、もとは西和賀農協農林産物加工場だったので閉鎖されることになり近藤英三さん(猿橋)、佐々木昭見さん(前郷)、深澤重勝さん(川舟)の3人が事業を引き継ぎ、名前も新たにオープンしました。

農事組合法人
菜の郷にしわが(太田)

■紹介者 工場長
高橋兼人さん
(長瀬野)



異物の混入、殺菌には十分に注意し、安全で安心な製品を家庭に届けています。また、町内でとれる山菜類を使い、本物志向で余計な添加物を入れず素材を生かした生産を心がけています。

—製品製造ではどんなことに気をつけていますか

ノコを入れてもらい、それを当工場でパッキングします。真空パック包装などにも依頼されません。依頼されるのは町内の方が多いのですが、和賀町や栗石町の方からも依頼されます。

おすすめの一品



に住所、氏名、年齢、職業、性別、連絡先を明記し、農業体験の有無、就農希望の有無、農用地の有無を必ず記入の上お申し込みください

経費／10,000円（保険など）

そのほか／①定員は50人で、募集期間終了後に選考が行われ、受講者が決定されます②開講式は5月3日③岩手県のホームページからも申し込み可

問合せ先・申込先／〒029-4501 胆沢郡金ヶ崎町六原蟹子沢14 岩手県立農業大学校農業研修センター ☎0197-43-2107 FAX0197-43-2108

建築確認の手続きが変わりました

構造計算書偽装事件により「建築確認・検査の厳格化」を柱とする建築基準法などの一部改正が行われ、昨年6月から施行されています。法律の改正に伴い、建築確認に要する日数が延長され、建物によっては構造審査のための手数料が新たに必要になりました。

建築主の方は、事前に設計者と綿密に打合せを行い、確認申請を行ってください。また、設計の変更を検討する場合は、工事のスケジュールへの影響を十分に配慮してください。

問合せ先／北上総合支局土木部建築指導課 ☎65-2738

そのほか

新店舗の名称を募集

西和賀産業公社（株）では、ほっとゆだ駅構内のジャスターほっとゆだ店の閉鎖に伴い、新店舗を4月中旬から開業します。そのため、この新店舗の名称を次のとおり募集します。



応募資格／西和賀町在住か勤務している方

応募方法／郵便はがき（FAX可）に名称（ふりがな）とその理由、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、職業、電話番号を明記し応募してください
募集締切／3月19日（水）

そのほか／①一人何点でも応募可②応募作品は自作で未発表のもの③採用された名称の著作権、商標権など一切の権利は西和賀産業公社に帰属します④採用された方には粗品を進呈します

応募先・問合せ先／〒029-5512 西和賀町川尻40-73-11 西和賀産業公社（株）☎82-2211 FAX82-2203

灯油の取扱いにご注意

ホームタンクからポリ容器に小分け中、忘れてあふれさせてしまう事故が起きています。小分け中は絶対その場を離れないでください。万一に備え受け皿（防油堤）があると安心です。

問合せ先／西和賀消防署 ☎84-2507

たばこ自販機ICカード導入

（社）日本たばこ協会などでは「未成年者喫煙防止」のため、たばこ自動販売機に、成人識別の仕組みを取り入れた「taspo（タスポ）」を全国的に導入することにしており、すでに導入済の地域もあります。

西和賀町では、5月から一斉にたばこ自販機がtaspo対応機になり、自販機でたばこを購入する場合はこのtaspoがなければ購入できなくなります。

taspoとは／氏名が記載（顔写真付）された電子マネー機能付きのICカードです

申込／たばこ販売店などの申込書に必要な事項を記入し申請してください

そのほか／対面販売の場合は、taspoは必要ありません

問合せ先／（社）日本たばこ協会未成年者喫煙防止対策室

☎03-5408-1452

戸籍の窓

（敬称略）

1月10日～2月12日受付分

※掲載を希望しない事も出来ます。届け出の際にお申し付けください。



ご誕生おめでとうございます

米澤 冬^{とつや}弥・男・一信・太田

高橋 雅^{みやび}美・女・宏明・新町



お悔やみ申し上げます

高橋 ミキ・90歳・中村
泉 川辰雄・91歳・大野
深澤 ミキ・95歳・太田
高橋 花代・89歳・湯本
奥山 松吉・69歳・耳取
佐々木 陽一・36歳・前郷
高橋 均・80歳・巢郷
高橋 夕マ・83歳・川尻
泉 川ミエ・90歳・大野
高 鷹 正・86歳・湯川
刈田 夕三工・85歳・鍵飯
富田 信男・77歳・川舟
松本 和男・78歳・若畑
高橋 眞一郎・64歳・小繫沢
藤 京嘉次郎・75歳・貝沢
高 橋 力ネ・98歳・川舟

住民の動き

（1月末現在）

項目	実数	前月との比較
転入	6	-2
転出	10	-1
出生	3	-1
死亡	20	+6
人口	7,341	-21
男	3,440	-9
女	3,901	-12
世帯数	2,518	±0

交通事故の状況

（1月分）

	物損	負傷	人身	死亡	飲酒
実数	12	2	1	0	0
累計	(12)	(2)	(1)	(0)	(0)

（ ）は1月からの累計

火災・救急の状況

（1月分）

■火災

区分	火災出場件数	損害額
件数	0件 (0件)	0円 (0)

■救急

区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	6件 (6件)	10件 (10件)	11件 (11件)	27件 (27件)
搬送人員	5人 (5人)	10人 (10人)	11人 (11人)	26人 (26人)

（ ）は1月からの累計



役場から

各地区で特別職の選出を

次の委員は、行政区から推薦のあった方を町長が委嘱しますので、各地区総会などで事前に入選をお願いします。

なお、各行政区長あてに、後日あらためて推薦依頼を文書で行います。

推薦してほしい委員／行政区長と防犯隊員

そのほか／①特別職の推薦人数はそれぞれ1人ずつ②任期は平成20年4月1日～平成22年3月31日までの2年間

問合せ先／区長の件は総務課 ☎82-3281、防犯隊の件は生活環境課 ☎82-3283まで

自然保護パトロール員を募集

町では、町内の自然を保護するため、次のとおりボランティアによる自然保護パトロール員を募集します。

業務内容／町内を巡回し、希少植物の保護や盗掘防止のための監視活動

活動期間／4月～翌年3月

募集人員／若干名

応募資格／町内に在住する25歳以上75歳未満の健康な人で普通免許所有者

申込期限／3月10日（月）まで

問合せ先／生活環境課 ☎82-3283

ふるさと就職支援で請求を

町は「若年者ふるさと就職支援事業」として、町内に住所を有する若年者（満15歳以上25歳未満）が新たに町内事業所に就職した場合に、定住費用の一部と事業主が支払う賃金などの経費に対し、それぞれ6か月間交付金を助成しています。

平成19年度分の請求は3月末日までなので、該当すると思われる



る事業主の方などは早めに請求してください。

問合せ先／観光商工課 ☎82-3290

灯油購入費の一部を助成します

すでに民生委員にお願いしていますが、町では、次のとおり町民税非課税世帯の高齢者・障がい者・一人親世帯等を対象に、暖房用燃料購入費（灯油のみ）の一部に助成をします。本助成は、平成19年度限りです。

該当する方で、助成を希望しまだ申請をしていない方は、早めに申請書を保健福祉課、または総合サービス課に提出してください。

対象世帯／本町に住所を有する平成19年度の町民税が非課税の世帯（福祉施設等入所者、長期の入院患者や世帯分離していても生計を一にする同居世帯がある場合を除く）で、次のいずれかに該当する世帯と生活保護を受給中の世帯

- ①65歳以上（昭和18年4月1日以前に生まれた者）の高齢者のみで構成される世帯
- ②身体障害者手帳1級か2級を持つ重度身体障害者のいる世帯
- ③療育手帳A級を持つ重度知的障害者のいる世帯
- ④精神保健福祉手帳1級を持つ重度精神障害者のいる世帯
- ⑤障害者基礎年金1級受給者のいる世帯
- ⑥特別児童扶養手当1級受給者のいる世帯
- ⑦一人親または父母に代わる養育者と18歳到達年度の末日を経過していない児童のみの世帯

助成金額／一世帯当たり10,000円

受付期間／2月29日（金）まで

問合せ先／保健福祉課 ☎85-3412

ねんきん特別便と住所変更届け

社会保険庁では、基礎年金番号に結びつかないおよそ500万件の記録の名寄せ作業を昨年11月から行っており、その結果基礎年金番号の記録と結びつく可能性のある方には、昨年12月か

ら今年3月まで「ねんきん特別便」を送っています。4月以降は、順次すべての方に送られることとなりますが、住所変更などの手続きが済んでいないと送ることができません。住所変更の届出が済んでいない方は、次のとおり手続きしてください。

なお、結婚で名字が変わった方で、氏名変更の届け出をしていない場合も、早めに提出してください。

【住所変更の手続き方法】

- ①国民年金第1号被保険者はお住まいの市町村役場の窓口
- ②厚生年金加入者と国民年金第3号被保険者は、厚生年金加入者の勤務先の社会保険担当者
- ③年金受給者はお近くの社会保険事務所

【ねんきん特別便の確認と回答】

「ねんきん特別便」は、社会保険庁が把握している加入記録をお知らせしているのので、記録にもれがないか十分に確認し、訂正がない場合は同封される「確認はがき」を、訂正がある場合は「年金加入記録照会票」を必ず提出してください。

問合せ先／町民課 ☎85-2111、または花巻社会保険事務所

☎0198-23-3351

公売のお知らせ

本紙11ページをご覧ください

国や県から

いわて農業入門塾生を募集

岩手県立農業大学校では、農業の知識や農作物の栽培方法の研修を行い、農業への理解を深め、将来の就農に役立てることを目的に「いわて農業入門塾」を開講します。

開講期間／5月3日（土）～10月18日（土）までの毎週土曜日

場所／岩手県立農業大学校

申込期限／3月10日（月）～4月7日（月）

申込方法／官製はがき（FAX可）

西和賀滝巡り

…
②



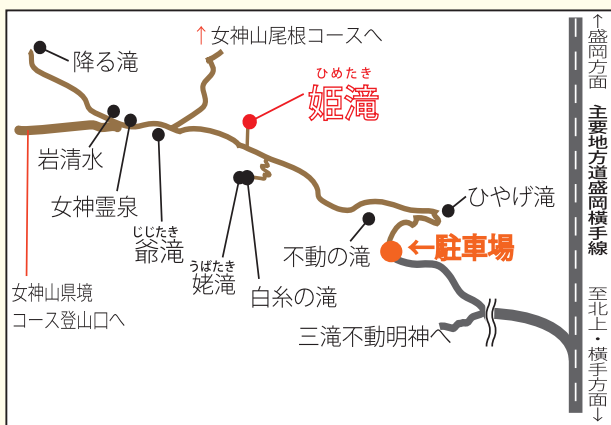
(撮影・文：広報編集委員 高橋定雄)

姫滝 落差12m

(下前川支流白糸沢 撮影：5月中旬)

「白糸の滝」の上流にある白糸沢を10分ほど登っていくと、小さな姫滝に出会えます。まさに、お姫様のようなおだやかな風情のある滝です。5月ころの姫滝は、残雪があり雪解け水が清冽さを際立たせます。

夏場は水が枯れ水量が少なくなり、雫が落ちているだけになり「姫の涙」になってしまいます。出かけるのは、残雪などもあり少し苦勞しますが水量のある5～6月ころがお勧めです。



県道1号線（盛岡横手線）の下前入り口に「白糸の滝」の標識があります。そこから下前地区を抜け、およそ7キロほどの林道の終着点に駐車場があります。

林道は未舗装です。また、川を渡る箇所もあるので長靴は必要です。

てにをは

秋に実家から届いた大根の葉っぱがあまりにも立派だったので干し葉にしておいた。その葉っぱが寒さに震え早くなるとかしてほしいと訴えている。そうだ！今夜は酒かすたっぷり干し葉汁にしよう。大根、ニンジン、ジャガイモ、ポタッコに干し葉を入れて。

子どもころ祖母がよく作ってくれた干し葉のかす汁。すっぱりと雪の中に埋まった家の中で、薪のはぜる音と「むがあし、むがし、あつたつけど」と始まる昔話を聞きながら食べる干し葉は格別だった。しばしの間、祖母との思い出の中にタイムスリップ。

今夜は、節分。あまり酔わないうちに福を呼ばなくちゃ。「鬼は外」「福は内」、曆の上ではあしたから春。何かいいことがありそうな気がする節分の夜でした。

(広報編集委員 千田フミ)

昨年的一年を締めくくる漢字は「偽」でした。ニュースを見る度に、「またか」と言いたくなります。いったい何を信じればいいのか？

地産地消という言葉とともに、さらに地元食材がより見直されています。安心、安全を求めるときは、やはり生産者の顔の見える食材による手料理に勝るものはないでしょう。

(広報係 小林)